



広島東南ロータリークラブ 2023年4月10日（第2868回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894
会長 佐野庸子 幹事 谷井 智

4月は「環境月間」です。

4月ロータリーレート 1ドル=133円



本日の例会

12:30 点 鐘

ロータリーソング「我等の生業」

四つのテスト（職業奉仕・経営研究担当）

来客紹介（親睦委員会）

会食

12:45 会長時間

幹事報告

委員会報告

・出席報告

・その他

同好会報告

S.A.A.

13:00 プログラム

13:30 点 鐘

会長時間

○連続出席100%会員表彰(4月) *は記念品あり

中村伸弘会員	35年*	檜垣純一会員	2年
米川 晃会員	23年	三宅正光会員	1年*
河野宏明会員	13年	濱本聖次会員	1年*
荒木浩幸会員	6年	江後潤一会員	1年*
平川勝洋会員	4年		

幹事報告

○例会終了後、次年度理事役員会開催

本日のプログラム

「新入会員卓話」 濱本聖次会員

次回例会（4月17日）

「母子の健康にちなんだ話」

温泉川梅代会員

お知らせ



ポールハリスフェロー認証 林 亮介会員

4月3日 累計899,500円
(本例会 23,000円)

ニコニコ箱
ペコペコ箱

○WBC日本代表全勝優勝！広陵高校ベスト4！これらの野球で感銘された方！：佐野庸子、谷井智、井原倫子、田上克彦、早田良二、柄博治、行武治子、米川晃、武士末修、品川晃二、佐々木誠、古本由美、森原弘昌、富部秀司、大井克元、鹿瀬賢二、蔦尾健太郎、尾立通泰、吉田範子、田中貴、東影正博、塩崎慈弘、田野原浩(1口×23)

今後の予定

○次年度 奉仕プロジェクト委員会

インフォーマルミーティング

と き 4月10日（月）18：30～

と ころ ANAクラウンプラザホテル広島内

○次年度 クラブ管理運営委員会

インフォーマルミーティング

と き 4月11日（火）18：30～

と ころ ANAクラウンプラザホテル広島内

○次年度 会員増強委員会・S. A. A

合同インフォーマルミーティング

と き 4月14日（金）18：30～

と ころ PAN

○カープ観戦家族会

と き 4月15日（土）試合開始14：00～

と ころ Mazda Zoom Zoomスタジアム広島

○2023-24年度 地区研修・協議会

と き 4月23日（日）13：00～本会議

と ころ 広島国際会議場

出席対象者 次年度会長・幹事、各委員長、奉仕プロジェクト、R財団委員

○広島14RC合同懇親ゴルフ大会

と き 4月29日（土・祝）

と ころ 広島カンツリー倶楽部西条コース



報告:プログラム担当リーダー 蔦尾健太郎

離婚案件を多く手掛けている弁護士の寺西先生をお招きし、離婚に際しての子どもとの面会交流における問題をご披露頂きました。

そもそも夫婦円満に過ごしているご家庭において、両親や祖父母が子ども(祖父母から見れば孫)と触れあうことはごく当たり前の日常と思います。

他方で、夫婦仲が悪化し、ひとたび別居や離婚の話となった場合には、離れて暮らす父(あるいは母)が子どもと触れあうことは容易なことではありません。

特に乳幼児から小学生くらいまでの小さい子どもを有する夫婦においては、離婚事件は面会交流に始まって面会交流に終わると言っても過言ではないほど重要な項目と思います。

面会の回数や面会時間、宿泊付とするか否か、面会場所をどこにするか、誰が付き添うか、子どもの急な体調悪化や意思の変化など、誰が緊急時に連絡するかなど、些細なところまでを双方の弁護士同士、調停委員が神経をすり減らしながら設定しているという実情があります。また面会が円滑に実施できないと、子どもに会わせようとしてもしない妻(夫)に対して、どうして養育費や生活費を支払わなければならないのかという感情に至る夫(妻)も多く、面会交流から養育費や生活費の未払いという問題にも派生します。逆に言えば、面会交流が代理人弁護士らの手を借りずにスムーズに行われるようになるころには、生活費や養育費の問題も解決し、離婚事件も解決間近といってもいいかもしれません。この度は離婚実務の最前線にて業務を行っておられる寺西先生に貴重なお話をご披露頂きました。寺西先生ありがとうございました。



委員会報告

被爆樹木標識プレートの寄贈式

報告:守下康弘

3月30日(木) 11:30~被爆樹木クロマツの標識プレートの寄贈式を行いました。場所は舟入幸町の舟入病院近く新しくオープンする結婚式場『ザ・リバーサイドテラス 広島ツリーズスクエア』内の庭園にて、晴天の中執り行いました。

出席者は当クラブより佐野会長、谷井幹事、佐々木誠副会長、田上会長エレクト、要田被爆樹木特別委員会委員長、菅委員、守下、樹木医の堀口力氏、広島市役所より松嶋国際平和推進部長、稲田被爆体験継承担当課長 計10名。

このクロマツは爆心地から約1900m離れた場所で 樹齢100年以上経っており、これから被爆体験を語り継ぐ被爆者が減って行く中で、被爆樹木の保存は重要となってきます。そんな中、標識プレートの寄贈は平和を伝える術として非常に大切なことだと感じました。

